



## 都内企業の景況感

—第121回企業動向調査結果 平成27年6月実施—



◎ 都内中小企業の景況は悪化。先行きは改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況をみると、自社業況判断DI*が、前回の5.6から今回-2.3へと7.9ポイント低下し悪化している。先行きについて同DI*は5.5へと上昇し、改善の見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	5.6	⇒	-2.3 (前回予想 16.8)	⇒	5.5
2. 売上高DI*は、前回の4.4から今回-5.9へと10.3ポイント低下、経常利益DI*は、0.7から-4.9へと5.6ポイント低下した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	4.4	⇒	-5.9 (前回予想 5.7)	⇒	0.4
	経常利益 DI*	0.7	⇒	-4.9 (前回予想 4.6)	⇒	-3.1
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回5.2と4.8ポイント低下、仕入れ価格DIは27.7と4.4ポイント低下した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	10.0	⇒	5.2	⇒	8.1
	仕入れ価格 DI	32.1	⇒	27.7	⇒	32.1
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の5.0から今回6.6へと1.6ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の6.3から今回8.4へと2.1ポイント上昇した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-8.3	⇒	-9.3	⇒	...
	設備資金需要 DI*	5.0	⇒	6.6	⇒	14.6
5. 金融機関借入難易感DIは、今回23.8と4.7ポイント低下、資金繰りDIは、今回9.8と0.9ポイント上昇した。	運転資金需要 DI*	6.3	⇒	8.4	⇒	11.5
	金融機関借入 難易感 DI	28.5	⇒	23.8	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア16.0%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回と同じく「人材難」が13.8%、第3位は前回同様「原材料高・仕入価格高」が12.5%だった。第4位は、前回5位の「売上不振」で12.2%、第5位は、「労働力不足・求人難」で11.2%だった。第6位は、「取引先からの値引き要請」6.4%、第7位は、「人件費等経費の増加」5.8%、第8位は、「円相場変動」4.7%であった。	資金繰り DI	8.9	⇒	9.8	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	15.2	⇒	16.0		
	人材難	14.6	⇒	13.8		
	原材料高・仕入価格高	12.8	⇒	12.5		
	売上不振	10.8	⇒	12.2		
	労働力不足・求人難	11.3	⇒	11.2		
	取引先からの値引き要請	5.6	⇒	6.4		
	人件費等経費の増加	5.9	⇒	5.8		
	円相場変動	5.1	⇒	4.7		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。  
 2. 天気図は自社業況判断\*、売上高\*、経常利益\*、設備資金需要\*の4指標の平均値(前回 3.9、今回-1.6、先行き 4.3)で判断したものの。前回は「晴れ時々曇り」、今回は「曇り」、先行きは「晴れ時々曇り」。  
 3. 季節調整済みの指標には、\*マークを添付。原数値の指標はマークなし。  
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。